



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

2 学期も全力を！

校長 木寺 恒

皆さん、今日から2学期がスタートします。1学期の終業式の式辞で「2学期に皆さんと元気に再会できることを楽しみにしています」と述べました、今日この学校だよりを通じて、皆さんとお話できることを大変うれしく思います。

2学期は、校内、対外行事の実施、3年生は進路選択に向けて考えをまとめる等、皆さんの成長にとって大切な学期です。体育祭、合唱祭、新人体育大会、市駅伝大会、生徒会役員選挙、三者面談による進路相談等、たくさんの行事が続きます。また、これらの行事の多くは、日頃の練習（準備）の成果の発表の場でもあります。この夏休み、皆さんはたくさんの練習（準備）を積み重ねてきました。校庭での早朝のライン引き、炎天下の活動や心を込めたグラウンド整備、蒸し暑い体育館での練習や対外試合、保護者の皆様の応援、英語弁論大会の練習、演奏コンクールでの、部が一つになった素晴らしい発表、1年生の学習会への参加、各部活動の夏季大会での戦い、ソーラン節の練習。3年生に直接会う機会は少なかったのですが、進路選択に向けて、各自熱心に学習に取り組んでいたことと思います。もちろん先生方も2学期により良い教育活動を行うために、研修を重ねてきました。

ここで、合唱祭について、以前出会ったあるクラスの取組を紹介します。その年のS先生のクラスは、指揮者や伴奏者、パートリーダーを中心に、ともかく一生懸命練習するクラスでした。練習で音楽室が使える日は、少しでも多く練習するために、走って移動する程です。このクラスの曲の歌詞は友情の大切さを歌うものであり、私もその曲が大好きでした。さて、このクラスには、A君という生徒がいました。A君は歌が大好きで、いつも大きな声で一生懸命歌います。ところがその声は音が大きく外れているのです。学年リハーサルの時は、A君の外れた音が響き渡り、客席から、ざわざわと声があがるほどでした。最も、当のA君は自分の音程がそんな外れているとは、気が付いていません、実に気持ちよさそうに歌うのです。S先生は心配しました。クラスが優勝するために、あるいはA君が傷かないようにするために、A君は、歌を少し控えさせたほうがいいのか、そんな意見がクラスの生徒たちから出たらどうしよう。自分はどうかクラスと向き合おう…。学年リハーサルの後、担任は指揮者や伴奏者、パートリーダーを集め、思い切って問いかけました。「みんな、A君の歌声をどう思う」。リーダーたちの返事「大丈夫です。あいつの声が聞こえなくなるくらい、周りが大きな声で歌えば、全然問題ありません。」それは合唱的には正しいのかどうか。でも友達を思い、前向きに乗り越えようとするその姿勢にS先生は胸が熱くなったそうです。当日の合唱は、もう鳥肌が立つくらいの勢いのある素晴らしい歌声で、歌の後、一瞬シンとなった後の割れるような拍手が、全校生徒の思いを十分に示していました。

優勝や勝利等、取組の結果はもちろん大切です。しかし、行事、大会、進路の成否は「結果だけでなく、準備や取組も含めてこそ」だと私は思います。記録に残る大会は嬉しい、そして、充実した取組が記憶に残る大会は素晴らしい。本番に向けて全力で取り組んだ充実感があれば、例え、今回は望む結果を得られなくても、「一生懸命取り組めたな私（たち）、次も全力で挑戦できる」と思える力を手に入れることができます。大久保中の生徒の皆さん、それぞれの行事や進路選択に向かい、全力でがんばってください。2学期の終業式の私のあいさつでは、その成果にたくさんふれられることを楽しみにしています。